

# 身近な男女差別・格差

長野県長野工業高等学校 情報工学科

山崎莉美羽・矢口晴陽

# テーマ決定の理由

- ・授業でSDGsの学習をして男女差別・格差について興味を持った。
- ・日本（身近）にはどのくらい差別や格差があるのか気になった。



5. ジェンダー平等を実現させよう

# 現状

ジェンダーギャップ指数 . . . 120位

分野別指数 経済 . . . 117位

政治 . . . 92位

教育 . . . 64位

健康 . . . 147位

ジェンダーギャップ指数(2021)  
上位国及び主な国の順位

順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アングラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

分野	スコア	昨年のスコア
経済	0.604	0.598
政治	0.061	0.049
教育	0.983	0.983
健康	0.973	0.979

「The Global Gender Gap Report  
2021」(世界経済フォーラム)

## 問題点

- 世界のジェンダーギャップ指数1位の国でも値が0.892であること。
  - 日本の順位が低い
  - 女性の活躍が少ない
  - 男女役割分業意識が残っている。

## これから

- 政治や経済活動に女性も参加しやすくする。
- 育休などの休みを男女ともに取りやすくする。
- 女性が参加しやすい制度を社会全体でやるべき。

## SDGs実現に向けて～10代からの提言～

- 男性も育児休暇をとれるように、会社や周りの人が、育児休暇を取りやすい雰囲気や制度を作ること。

# 感想

- 日本<sup>の</sup>経済、政治において男女差別・格差が多いことを再認識できた。
- 男女差別・格差が生まれる原因として、男女役割分業意識が関係していることが分かった。
- 具体的な原因として男性、女性の育児休暇の取得率が大きく影響していると思う。